



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

「うっかり」はなくならない！？ ヒューマンエラーとの向き合い方と、新しい安全構築の考え方。

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 よく読まれている記事！

1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
100283Views
OTEMON VIEW編集部

2 2022.10.07 社会と暮らし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
69252Views
OTEMON VIEW編集部

3 2021.03.05 社会と暮らし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
34567Views
OTEMON VIEW編集部

4 2022.12.20 社会と暮らし
元マルサの指揮官が語る「国税専門官」の仕事とキャリアパスのリアル。
31683Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

人間の判断や行動が引き起こす「ヒューマンエラー」は、「意図しない結果を生じさせる人間の行為」を意味する言葉です。現代では、誤解や行き違いなどのヒューマンエラーが最悪な事態を招かないようにシステム設計も高度化してきたものの、人が関わる場面でのミスが無くなることはありません。

今回は安全工学が専門で、2006 年開設の西日本旅客鉄道株式会社「安全研究所」の発足メンバーとしても研究に従事した経歴をもつ上田真由子准教授による解説です。

(以下は主なポイント)

人間である以上「うっかり」は仕方ない！？

- ヒューマンエラーの背景にある「人の特性」
- 人と環境をまるっと考える安全構築のための「m-SHEL モデル」
- ペナルティを与えるだけでは事故は防げない
- ヒューマンエラーが起きることを前提とした社会へ
 - 失敗を減らす「Safety-I」、安全を増やす「Safety-II」
 - 安全を守るカギは、萎縮せず失敗を受け止め成功事例に学ぶこと

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/3473/>

「うっかり」はなくならない！？ ヒューマンエラーとの向き合い方と、安全構築の考え方。



記事のイメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL : 072-641-9590

仲西・織田